

日本図書館情報学会会報

No. 200

2025年2月

日本図書館情報学会事務局（編集：総務委員会）

〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京 2-1-1

相模女子大学 金井喜一郎研究室内

（事務局業務に関する問合せ先）

（株）ガリレオ 学会業務情報化センター内 日本図書館情報学会

E-mail : office@jslis.jp 学会ウェブページ : <http://www.jslis.jp/>

ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行019店 口座番号=当座0045759 口座名義=日本図書館情報学会

2025年度春季研究集会のご案内

日本図書館情報学会会長

岸田和明

2025年度の春季研究集会を下記の要領で開催します。研究発表申込の受付を開始しますので、「3. 発表募集要領」「4. 学会員向け各種支援」および「5. 研究大会・春季研究集会における発表のルールについて」をよくお読みのうえ、ふるってご応募ください。また、学生会員を対象に発表を行うための交通費等を一部補助する事業を行っています。該当される会員におかれましては申請ください。最後に、春季研究集会の円滑な運営のため、募集要領、発表ルールの遵守を重ねてお願いします。

なお、第73回研究大会にて実施した「託児サービス」につづき、「託児サービス利用の一部補助」を試行します。詳細は4.(3)をご覧ください。また、会場に「親子休憩室」を設けます。保育スタッフによる託児サービスは提供しませんが、一般の休憩室とは別に子連れ参加者が休憩できるスペースを用意します。

加えて、当日のお昼休みに会場校である実践女子大学のご協力を得て、「初期キャリア研究者ランチ交流会」を開催する予定です。詳細が決まりましたら学会ホームページで案内します。

このほか、春季研究集会関係の情報は、学会のホームページでも随時、提供します。

会員多数の参加をお待ちしております。

記

1. 開催要領

主 催： 日本図書館情報学会

日 程： 2025年5月31日（土）10:00～18:00（予定）

会 場： 実践女子大学 渋谷キャンパス

〒150-8538 東京都渋谷区東 1-1-49

https://www.jissen.ac.jp/access_guide/#anc7_1

アクセス： 渋谷駅 東 C1 出口から徒歩約 10 分

表参道駅 B1 出口から徒歩約 12 分

参加費： 会員（正会員・学生会員）、及び非会員の学生は無料。学生以外の非会員は 2,000 円。

2. 宿泊案内

会場校では宿舎の斡旋はいたしませんので、ご了承ください。

列車や宿泊場所の手配は、各人をお願いいたします。

3. 発表募集要領

(1) 応募条件

日本図書館情報学会の正会員および学生会員（共同発表の場合、第一発表者が正会員または学生会員であること）。

研究発表の申込は、申込時点で既に正会員・学生会員である者に限ります。申込時点で入会が承認されていない場合は、研究発表を申し込むことはできません。発表を希望する方で、未入会の方は、発表申込締切前に入会申込締切日となる 3 月 20 日までに入会申込を行い、4 月 1 日時点で会員資格を得ておく必要があります。入会の承認通知が届いた後に、発表を申し込んでください。

(2) 発表時間：1 件 30 分（発表時間 20 分、質疑応答 10 分）

(3) 発表言語

日本語もしくは英語であること。どちらの言語の場合も、発表申込、発表論文作成、発表、発表概要提出まで同一言語とすることを条件とします。英語での発表も受け付けますが、多くの聴衆が日本語での発表を期待している現状に鑑み、基本的には日本語での発表が望ましいと考えます。

(4) 申込方法

学会ウェブサイトから発表申込申請サイトにアクセスの上、申し込んでください。なお、受理された発表要旨はウェブサイトで公開される予定です。

(5) 申込締切：2025 年 3 月 31 日（月）24 時必着

申込直後に申込を受け付けた旨のメールを送付します（受理の連絡は別途、メールにて通知します）。申し込んだにもかかわらずメールが届かない場合、トラブルの可能性がありますので、研究委員会（kenkyu[at]jslis.jp）まで連絡してください。

(6) 発表論文の提出

発表申込が受理された場合には、A4 判で 4 枚の発表論文を作成し、2025 年 4 月 30 日（水）までに原稿を発表申込申請サイトから送っていただきます。なお、発表論文提出の締切日は前後することがありますのでご了解ください。発表論文の作成方法などに関しては、発表申込受理者に連絡します。

(7) 発表のための機材と資料等

PC によるディスプレイ（PowerPoint）装置が使用できます。その他の機材をご要望の場合には、研究委員会（kenkyu[at]jslis.jp）まで問い合わせてください。当日の資料配布は、原則として認めていません。詳しくは、「5. 研究大会・春季研究集会における発表のルールについて」をご確認ください。

4. 学会員向け各種支援

(1) 優秀発表奨励賞

初期キャリア研究者による優秀な発表に対して、奨励賞を授与します。

対象者は第一発表者として口頭発表を行った初期キャリア研究者（大学院修士課程・博士課程の在学者、修士課程・博士課程修了後おおむね5年以内で研究活動を行っている者、およびそれに準じる者等の、研究をスタートして間もない研究者）とします。授与のための審査を希望する者は、自己申告（発表申込申請フォームの「優秀発表奨励賞審査希望」にチェック）してください。発表内容、発表技法の観点から、優秀発表奨励賞選考委員会で審査を行った結果、優れた口頭発表を行い、将来の活躍が期待される初期キャリア研究者（正会員、学生会員）に授与します。受賞者は、学会ウェブサイト並びに学会誌に掲載される研究大会・春季研究集会概要において公表されます。

(2) 交通費等一部補助

以下の要領で発表を行うための費用を補助します。希望される方は申請してください。

- ① 対象者：第一発表者として研究発表を行う学生会員
- ② 人数：希望者全員
- ③ 申請基準

自宅または通学する大学の最寄駅のうち研究集会開催校の最寄駅に近い方を起点として、研究集会開催校の最寄駅まで片道 300km 以上であることを基準とします。

④ 申請方法

発表申込申請フォームの「研究集会参加のための交通費一部補助希望」欄にチェックを入れ、自宅または通学する学校の最寄駅のうち、研究集会開催校の最寄駅に近い方を申告してください。

⑤ 補助額：一律 15,000 円

⑥ 支給時期と方法

研究集会で研究発表を確認後、1週間以内に事務局から振り込みます。なお、支給した者に振込確認後、受領書の提出を求めます。

⑦ 補助に際してのルール

- 1) 申請は単年度あたり 1 人 1 回に限ります。
- 2) 研究発表を取りやめた場合は支給しません。
- 3) 本制度で賄えない残りの交通費等を補うために、他機関から補助を受けることを認めます。

(3) 託児サービス利用の一部補助（試行）

各自が手配した託児サービスを利用した際に、その費用の一部を補助します。希望される方は申請してください。

- ①利用資格：第一発表者として研究発表を行う正会員、学生会員
- ②対象者：春季研究集会で発表する学会員の子ども（目安として就学前まで）
- ③補助額：子ども 1 名につき 5,000 円まで
- ④人数：10 名（先着順）

発表申込申請フォームの「託児サービス利用の一部補助希望」欄にチェックを入れて申し込んでください。

⑤ 支給時期と方法：

研究集会終了後、領収書の原本を学会事務局にご提出ください。研究集会での研究発表を確認した後、1週間以内に学会事務局から振り込みます。なお、支給した者に振込確認後、受領書の提出を求めます。

⑥その他：

自宅近く、会場近辺等、各家庭で都合のよい託児サービスをご予約ください。学会は斡旋や手配は

いたしませんので、ご了承ください。なお、研究発表を取りやめた場合は支給しません。

(4) 初期キャリア研究者ランチ交流会

会場校である実践女子大学のご協力を得て、当日の昼休みに実施します。無料のランチをとりながら、初期キャリア研究者同士で自由に交流することができます。申込方法などの詳細が決まりましたら、学会ホームページにてご案内いたします。

5. 研究大会・春季研究集会における発表のルールについて

研究大会および春季研究集会は次のようなルールの下に統一的に運用されています。発表希望者はルールをご確認のうえ、発表を申し込んでください。

- (1) 個人会員（正会員・学生会員）は研究大会および春季研究集会において発表の権利をもつ。
- (2) 研究発表は他で公表していないオリジナルなものに限るものとする。
- (3) 個人会員が一度の研究大会あるいは春季研究集会において第一発表者（＝発表論文の第一著者）として口頭発表1回、ポスター発表1回申し込むことができる。
- (4) 共同研究の第一発表者は個人会員でなければならない。
- (5) 口頭発表の登壇者は、原則として発表論文の第一著者とする。
- (6) 発表論文の原稿は、発表内容を論文の形式で記述するものとする。
- (7) 発表者は発表申込申請サイトから発表論文をアップロードする際、本学会が教育・研究の目的で発表論文を印刷物およびウェブ等の電子メディアでを使用することを許諾するものとする。
- (8) 指定の期日までに発表論文を提出しなかった者は、発表を取り下げたものとみなす。
- (9) 発表申請受理後のプログラム（発表タイトル、発表者、発表内容、発表スケジュール）の変更は原則として認めない。
- (10) 発表当日の資料配布は、原則認めない。何らかの理由で資料配布を希望する場合は、発表当日の1週間前までに研究委員会宛に、資料に配布の理由を添えて申請し、許諾を得る。資料配布が認められた場合は、印刷、配布、および残部の回収は発表者自身で責任をもって行う。ただしポスター発表においては、資料配布は自由とする。

6. 発表者への諸注意

- (1) 発表会場へは遅くとも、セッションの始まる10分前には到着するようにしてください。
- (2) 会場の備え付けの発表用PCに発表用ファイルをコピーしてください。また、セッションを円滑に進行するため、発表者は会場前方に着席してください。
- (3) 本学会発表では、原則として会場に備え付けのPCでの発表としています。持ち込みPCの利用が必要となる場合は、発表申込申請フォームの備考欄に＜PCのつなぎかえの希望＞について、必ず明記してください。事前申請を行わなかった場合、他の発表者の不利益になる可能性があるため、持ち込みPCのつなぎかえはできません。

7. 発表論文集の頒布

発表論文集は学会ウェブサイトで公開するほか、正会員および学生会員（非会員の学生を含む）には無償で頒布します。希望者は研究集会終了後3か月以内にレターパックライト（430円）を会場校担当者（文学部図書館学課程 須賀千絵）宛てに郵送してください。到着次第、順次返送します。非会員の方は、研究大会の参加申込のPeatixから2,000円をお支払いの上、資料送付先をお知らせください。研究大会終了後、レターパックにて資料を送付いたします。なお、参加申込のPeatixのアクセス先は、4月頃に、学会のホームページにてご案内します。

臨時シンポジウムの開催

常任理事会

本学会では、2023年10月に「生成AI時代における図書館員の役割」をテーマに公開シンポジウムを実施しました。図書館界では、生成AIのほかにも、データ・サイエンスやオープンサイエンスなど、新たな動向への取り組みが大きな課題となっており、図書館情報学教育にもその影響は及んでいます。このたび、臨時シンポジウム（オンライン）を企画しました。筑波大学や九州大学の教育事例の紹介を中心に、図書館情報学教育の今日的課題を整理し、その方向性について議論する予定です。

皆さまのご参加をお待ちしております。

テーマ：「図書館情報学教育のこれから～MDA（Mathematics, Data Science and AI）教育・オープンサイエンスを見据えて」

日時：2025年3月8日（土）14:00～16:30

実施方式：Zoomでの開催（日本図書館協会会館研修室から動画配信）

コーディネータ：呑海沙織氏（筑波大学）

講師：宇陀則彦氏（筑波大学）、石田栄美氏（九州大学）、角田裕之氏（鶴見大学名誉教授）

後援：日本図書館協会図書館情報学教育部会

タイムテーブル：

13:30	受付開始
14:00-14:05	開会あいさつ
14:05-14:40	宇陀則彦氏「筑波大学のMDA教育と情報学学位プログラム」
14:40-15:15	石田栄美氏「九州大学の研究データ管理支援人材育成プログラムと人文情報連携学府」
15:15-15:35	角田裕之氏「生成AIと図書館情報学」
15:35-15:45	休憩
15:45-16:25	質疑
16:25-16:30	閉会あいさつ

参加資格：正会員・学生会員・一般（無料）

参加申込 URL：<https://forms.gle/WratZgWbCLHTGLxs9>

参加申込締切：2025年3月3日（月）※必着

2025年度研究助成の公募

研究委員会

本学会では、図書館情報学振興のために、会員が自発的に計画した研究調査の遂行ならびにその結果

の取りまとめに要する経費の一部を助成する事業を実施しています。2025年度は①『日本図書館情報学会誌』に原著論文として投稿を予定し研究を行っている者、②図書館情報学分野での科研費の申請を予定し研究を行っている者、③博士論文執筆のための研究に取り組んでいる者を主たる対象として次の要領で募集を行います。研究歴が浅い研究者、外部資金を得にくい条件にある研究者を優先的に支援します。またこれから研究が本格化する萌芽的研究も本助成の対象とします。ふるってご応募ください。

記

1. 助成額

30万円を1件の申請額の上限とし、一定の選考条件を満たした研究、2件に交付予定。なお審査の結果、申請額が減額されることがある。

2. 応募条件

(1)本学会の個人会員が個人もしくはグループで行う研究であること。ただし、グループ研究の場合、研究代表者が個人会員であれば、研究分担者が会員である必要はない。共同研究の人数は3人程度とする。

(2)応募者が申込時点で正会員・学生会員である者に限る。未入会者は、応募申込締切前の入会申込締切日となる4月20日までに入会申込を行い、入会の承認通知が届いた後に応募すること。

(3)2026年3月31日までに研究を終了させること。

(4)2026年3月31日までに所定の書式によって「研究成果報告書」「会計報告書」および領収書のデジタルコピーを提出すること。

(5)以下のいずれかの要件を満たすこと。

a.応募者は、研究終了後2年以内(2028年3月31日まで)に『日本図書館情報学会誌』に応募者が単著あるいは筆頭著者となる原著論文、研究ノート、展望論文のいずれかを投稿すること。

b.応募者は、研究終了の翌年度(2026年度)内に代表者として科研費に応募し、その申請書を提出すること。

c.応募者は、研究終了後3年以内(2029年3月31日まで)に博士論文を提出すること。

(6)本研究助成を受けたことがある者は、以前の助成の要件が満たされている場合のみ、本年度の申請が認められる。

3. 選考および選考後の報告義務

・「研究費助成申込書」に基づいて研究委員会が選考する。結果は応募者に直接通知するとともに、会報に助成者名と研究題目を掲載する。

・助成者は研究終了後1ヶ月以内に、デジタル化した報告書と領収書を研究委員会に提出すること。

・助成者は2.応募条件に示された要件を満たした時点で、すみやかに研究委員会に報告すること。もし要件を満たせない事情が生じた場合、各応募条件の要件となる締切期日の1ヶ月前までに研究委員会に連絡すること。その際は、然るべき措置を講じる。

4. 応募方法

学会ウェブサイトから研究助成公募申請フォーム(2025年4月上旬に掲載予定)にアクセスの上、申し込む。申請に必要な応募項目は以下の10項目を予定している。

(1)提出日

(2) 研究代表者の情報

氏名

ふりがな

所属

会員種別

E-mail

(3) 研究分担者の情報

氏名

ふりがな

所属

役割分担

※共同研究の場合のみ，研究代表者以外の研究分担者全員を記入する。役割分担は，研究の実施計画に対する分担事項等を具体的に記入すること。

(4) 研究題目

(5) 申請金額（円） ※上限 30 万円

内訳（円）

資料購入費・機器購入費・印刷複写費・旅費・消耗品費・謝金・その他の各金額を示すこと。また，研究計画と経費の整合性を明らかにすること。

(6) 研究の目的（700 字程度）

この研究助成を希望することによって，何を，どこまで明らかにしようとするのか，具体的に記入する。

(7) 研究の意義（500 字程度）

この研究の学術的な特色・独創性および期待される成果等について，具体的に記入する。

(8) 研究の実施計画（800 字程度）

研究目的を達成するための計画・方法について，①これまでの準備状況，②本研究助成金との関連性，の二点を含めて具体的に記入する。研究目的との整合性を明らかにすること。

(9) 研究成果の発表時期と方法（200 字程度）

2. 応募条件(5)のいずれを予定しているか具体的に記入する。

(10) 特記事項（200 字程度）

例えば「大学院生であるため科研費の応募資格がない」等，この助成が必要な特別の事情などがあれば，記入する。

5. 応募締切

2025 年 5 月 2 日(金) 24 時必着

役員会等の記録

2024 年度第 4 回常任理事会（開催記録）

日時：2024 年 11 月 16 日（土）13:00～14:40

場所：Zoom によるオンライン会議

出席者：岸田，三浦，小山，浅石，金井，須賀，大場（記録）

欠席者：呑海

1. 各委員会等に関する報告・協議事項
2. 2024 年度予算執行状況
3. 今後の活動

2024 年度第 5 回常任理事会（開催記録）

日時：2025 年 1 月 26 日（日）10:00～13:20

場所：Zoom によるオンライン会議

出席者：岸田，三浦，小山，浅石，金井，須賀，大場（記録）

欠席者：呑海

1. 各委員会等の 2024 年度事業の総括および 2025 年度事業計画
2. 2024 年度予算執行状況・2025 年度予算策定方針について
3. 2025 年度理事会・常任理事会，研究集会・大会の日程等

2024 年度第 2 回理事会（議事抄録）

日時：2024 年 9 月 14 日（土）13:00～14:30

場所：Zoom によるオンライン会議

出席者：岸田，三浦，浅石，大場，小山，須賀，金井，青柳，安形輝，安形麻，池内淳，池内有，池谷，
今井，宇陀，小野，河村，庭井，松林

委任状提出：大谷，佐藤 / 欠席：呑海，中村 / 列席者：逸村

1. 2024 年度定例（通信）総会の議案投票結果報告

2024 年度定例（通信）総会の成立ならびに議案成立が確認された。

2. 学会賞・論文賞・奨励賞の選考・授与

学会賞，論文賞，奨励賞の選考過程について報告があり，学会賞 1 件，論文賞 1 件，奨励賞該当なしと提案された。全て承認された。

3. 学会活動へ貢献があった者への感謝状の贈呈

該当なしと提案され，承認された。

4. 2024 年度事業の経過報告（担当と報告内容）

- ・研究委員会：研究大会，研究大会シンポジウムの準備状況
- ・編集委員会：学会誌の刊行状況や学会誌の刊行状況，投稿編集状況
- ・総務委員会：会報およびメールマガジンの配信の状況
- ・図書館情報学教育に資する事業 WG：シンポジウム企画案
- ・出版事業検討 WG：シリーズとテーマ案，および執筆者とメンター募集について
- ・会計担当者：会員・会費状況，会費補助申請
- ・研究大会における有料託児サービスの試行について

委員会・事務局より

オンライン・チュートリアルセミナーについて

2024年12月19日と2025年1月22日の2回、「初期キャリア研究者」の方々を主対象としたオンライン・チュートリアルセミナーを実施しました。

第1回は「図書館情報学関連の学術雑誌への投稿について：初期キャリア研究者向けガイド」をテーマとし、浅石卓真氏（南山大学，JSLIS 編集委員長），石川敬史氏（十文字学園女子大学，『図書館界』編集委員長），安形麻理氏（慶應義塾大学，『Library and Information Science』編集委員長），須賀千絵氏（実践女子大学，JSLIS 出版事業検討担当常任理事）が話題提供しました。

第2回は「現場実践をどのように研究発表につなげるか：現職者の初期キャリア研究者の方向けのガイド」をテーマに、小山憲司氏（中央大学，JSLIS 研究委員長），青野正太氏（駿河台大学，元東京都立図書館），金井喜一郎氏（相模女子大学，元昭和音楽大学附属図書館），庭井史絵氏（青山学院大学，元慶應義塾普通部（中学校））が話題提供しました。

いずれも19時45分から75分間の夜間開催で、話題提供後に30分程度の質疑応答が行われました。参加者は各回約60名でした。コーディネータは三浦太郎氏（明治大学，JSLIS 副会長）が務めました。

ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。（常任理事会）

メールマガジンについて

総務委員会ではメールマガジンを随時、発行しています。掲載・講読希望の方は、総務委員会まで電子メール（somu@jslis.jp）にてご連絡ください。なお、掲載を希望する方は、PDFの添付ではなくメール本文に掲載内容を記してお送りください。

会報印刷版の2025年4月以降の受領希望の申し込みについて

現在会報はpdf版での発行となっています。ただし、希望者に対しては印刷版を郵送します。郵送を希望される方は総務委員会のアドレス（somu@jslis.jp）宛てに、「印刷版会報郵送希望」とのタイトルにて「氏名」「郵送先郵便番号および住所」の2点をご連絡ください。郵送についてはpdf版の発行後の送付となります。本年度申し込み済の会員でも、2025年度も継続して郵送希望をされる場合には改めて申し出てください。

2024年度の会費納入について

2024年度の会費払込用紙は6月号の学会誌に封入されておりますので、そちらを利用して支払をお願いいたします。

未納会費の納入について

2023年度の会費を未納の方はすみやかに納入してください。2022年度までの会費を未納の場合は、2023年度と合わせてできるだけ早く納入してください。なお、会費を3年滞納した会員（学生会員は2年）については、その年度末（3月31日）に会員資格停止の手続きを行います。次年度から会員としての権利を失いますのでご注意ください。また、会費を1年滞納（当該年度末を超えて滞納）した場合は、機関誌の配付を一時停止します。

そのほか、学生会員で2024年4月以降に所属が変わり正会員へ変更となる方については、判明後、すみやかに会員種別の変更手続きを行なってください。会費の金額が2,000円から8,000円に変わります。適正な会費をお支払いいただきますようお願いいたします。

【振り込み先】

ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行 019店 口座番号=当座 0045759 口座名義=日本図書館情報学会

なお会費は、下記のサイトへログイン後、クレジットカードによる支払い（もしくは決済）が可能です。

<https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/settlement/JSLIS>

ログイン後、「オンライン決済へ進む」を押していただき、クレジットカード情報をご入力いただき、「オンライン決済の実行」をクリックすると決済が完了します。どうぞご活用下さい。

(事務局)

会員情報変更・退会および会員情報管理について

住所、電話番号、所属先、メールアドレス等の変更については、学会ウェブサイトに掲載されているガリレオの会員情報管理システム (SOLTI) から直接変更していただくか、「会員情報変更」のページに掲載されている「会員情報変更申請書」にご記入いただき、事務局 (office@jslis.jp) までメールでお送りください。

また会員種別の変更については、(1) 正会員から学生会員への変更の場合、当該年度の4月20日までに事務局に申請する必要があります。それ以降に申請しても、その年度は変更されません。(2) 学生会員から正会員への変更の場合、随時、事務局で申請を受け付けます。ただし、受付の時期によっては、正会員の権利の行使が制限されることがありますので、ご注意ください。また、受付後に年会費の差額を申し受けます。

なお、退会については特に書式はありませんので、電子メールにて、退会理由を併記のうえ、事務局 (office@jslis.jp) までご連絡ください。毎年3月20日までに申し出がない場合、翌年度末での退会となり、1年分の会費請求が発生しますのでご注意ください。

(事務局)

学会受領資料

紙幅の都合により、図書のみ記載しております。(編著者名の五十音順)

- 青柳英治 著『専門図書館におけるキャリア形成と人材育成』勁草書房、2024
- 小川三和子 著『子どもの読む力を育てよう!: 家庭で、園で、学校で』青弓社、2024
- 金沢みどり 編著『学校司書の役割と活動: 学校図書館の活性化の視点から』改訂版、学文社、2024
- 後藤敏行 著『図書館の法令と政策: 教育・文化・自由を支える制度・議論をみる』新訂、樹村房、2024
- 佐藤翔 著『図書館を学問する: なぜ図書館の本棚はいっぱいにならないのか』青弓社、2024

- 田中均 著『図書館情報技術論』改訂版, 青弓社, 2024
- 中島玲子, 安形輝, 宮田洋輔 著『スキルアップ! 情報検索: 基本と実践』新訂第3版, 日外アソシエーツ, 2024
- 西巻悦子, 小田孝子, 工藤邦彦 著『デジタル時代の児童サービス』近代科学社 Digital, 2024
- 日本社会教育学会 編『現代社会教育学事典』東洋館出版社, 2024
- 根本彰 著『知の図書館情報学: ドキュメント,アーカイブ,レファレンスの本質』丸善出版, 2024
- 根本彰 著『図書館教育論: 学校図書館の苦闘と可能性の歴史』東京大学出版会, 2024
- パトリック・ウィルソン 著, 齋藤泰則 訳『知の典拠性と図書館: 間接的知識の探求』丸善出版, 2024
- 松本美智子 著『学校図書館活用を組織論で考える: 教員・司書教諭・学校司書の協働』樹村房, 2024
- 吉田右子 著『ラトヴィアの図書館: 光を放つ文化拠点』秀和システム, 2024

会員の皆さまが図書館情報学関係の著作を刊行された際には, 可能であれば事務局(相模女子大学金井研究室)まで1部お送りいただければ幸いです。書評対象文献の選定ならびに学会賞選考の際の参考とさせていただきます。

(事務局)